

令和3年度 学校経営方針

令和3年4月1日
福岡市立若久特別支援学校
校長 中島 信行

1 本校教育の基本方針

障がいのある児童生徒は、障がいのない人と同じくかけがいのない普通の存在であり、その教育の基本は、一人の個性豊かな社会人を育成するものである。障がいのある児童生徒が、自らの良さや可能性を生かし、持っている力を十分に発揮することができるようにしていくために、その能力や可能性を最大限に伸ばし、積極的に社会参加していく人間の育成を目指す。

本校教育は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の諸法規、学習指導要領、管理規則、人権教育基本方針、福岡市教育行政の方策要綱、学校教育指導の重点に示された事項に立脚し、児童生徒の教育的ニーズに即応したきめ細かい指導・支援を行う。

2 本校教育目標

子ども一人一人の障がいの状況や発達段階、特性等に応じて適切な教育環境を整え、その可能性を最大限に伸ばし、豊かな心を持ち、社会でたくましく生きる力を育成する。

3 教育目標を達成するための具体的方針

- (1) 全職員が一丸となって、教育目標の達成を図り、活気ある校風の樹立に努める。
- (2) 人間尊重の精神を基調とし生きがいをもって自分らしく生きる子どもを育成する。
- (3) 児童生徒が健康で安全な学校生活を送るための研修を深め、災害時の対応も含め、校内体制を充実させる。
- (4) 教師の専門的な知識・技能を高める校内研修の充実し、地域における特別支援教育のセンターとして機能の充実・推進を図る。
- (5) キャリア教育の視点に立った小・中・高の一貫し、連携した教育の充実を図る。
- (6) 居住地校交流・近隣校交流・居住地交流・地域交流等を通し、障がいの有無に関わらず互いに認め合える取組を進める。また、学びやすい、過ごしやすい教育環境の整備充実に努める。
- (7) 家庭、地域と連携し、福祉、医療、行政等とのネットワークを強化する。
- (8) 教職員の健康維持、増進に努め、働きやすい職場環境づくりに取り組む。

4 本校が目指す児童生徒像

- 自分なりの方法で、あいさつがしっかりとできる子ども
- 元気で明るい子ども
- 友達と仲良く助け合う子ども
- ねばり強く取り組む子ども

5 本校が目指す教師像

- 常に子どもと共にあり、人間性豊かな教師
- 日常の教育活動を大切にし、実践研究に努める教師
- 教育者としての使命を自覚し、専門的力量を持った教師
- 保護者や地域社会の信頼と期待に応える教師

6 本校が目指す学校像

- たのしい学校（児童生徒が喜んで通う明るい学校）
- げんきな学校（いきいきとして活気に満ちた学校）
- はなしやすい学校（信頼、責任、協力の人間関係を基盤とする学校）
- である学校（保護者、地域社会から信頼される学校）

7 本年度の重点

(1) **凡事徹底**をはかる。

教育公務員として、また社会人として当たり前のことを当たり前にやる。

(2) **コミュニケーション**を大切にする。（まずは**あいさつ**から）

(3) 目標に向かって**チャレンジ**する。

- ・児童生徒…日々の教育実践において、個々の教育的ニーズをしっかりと把握し、様々なことに興味を持ち、取り組もうとする態度を促す。

認められる喜び ・ 感謝される喜び ・ 期待される喜び ・ 頼られる喜び

- ・家庭・・・保護者の思い願いを共感的に受け止め、信頼関係を築き、協力して教育を行う。
- ・地域・・・開かれた学校をめざし、小中高等学校との交流教育及び地域社会の教育資源を活用したキャリア教育等を推進する。
- ・教員間・・・全教職員の共通理解と協働により、合理的・効率的に教育目標の達成を図る。

※ 働き方改革の推進

- ・**完全定時退校日、青年学級、（運動会、夏季休業中の研修）**